



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



地域の介護予防を考えよう！

3月5日(木)白石東会館において、白石東地区社会福祉協議会主催により、研修会「白石東地区・地域の介護予防を考える集い」を開催しました。

地域住民と福祉のまち推進センター(福まち)に対する介護予防の期待が高まっている中、平成20年度の研修は、講演会やグループ討議(分科会)により参加者の意識向上を図るとともに、関係機関との連携を強化することを目的に開催しました。

当日は白石区保健福祉課や地域包括支援センター、介護予防センターから保健師や社会福祉士などの専門職員12名を講師に招き、町内会や各種団体から60名が参加しました。

第1部は白石区保健福祉課の大久保仁美保健師が「元気に暮らすために～『危険な物忘れ』と認知症～」をテーマに講話を、第2部は講師及び参加者72名が12班(1班6人編成)に分かれて、80歳一人暮らしの女性を事例に、「認知症の対応にあなたはどのようにしますか」についての活発な意見交換が行われました。

認知症の初期の症状は目立たず、本人も家族も些細なこととして見過ごしていることも多いのですが、早期発見、早期治療が大変重要であることが理解でき、大変有意義な研修会でした。



福祉のまち推進センター 事務局長 横道

早期受診・早期の関わりが必要な理由

- 専門家に相談することで
- ・各種制度の活用等について、本人の意見を尊重したアドバイスを受けられます。
- 病院に受診することで
- ・認知症の原因となる病気の中には治療を受ければ治るものもあります。
 - ・原因に応じた治療を受けることで進行を遅らせることができる場合があります。
- その人に合った介護保険サービスを利用することで
- ・生活にメリハリがつき、進行を遅らせることができます。
 - ・担当のケアマネージャー等の専門家と一緒に、利用者に合わせた生活を考えていくことができます。



どうしてもわからないときはぜひご相談を

白石区第1地域包括支援センター：864-4614

介護予防センター本通：861-6110

白石区保健福祉課保健支援係：861-2400



スポーツアラルト！【 3 】



町内会連合会主催の各種スポーツ大会の結果について報告します。

白石区民卓球大会が平成 20 年 11 月 23 日（日）に白石区体育館で開催されました。団体戦は 5 地区代表によるリーグ戦で、白石東地区は 2 勝 2 負の成績で第 3 位に入賞しました。

個人戦では、小学生男子の部において出場選手 30 名中 29 名が白石東地区からの参加で、表彰台を独占しました。小学生女子の部でも、出場選手 7 名中 5 名が白石東地区からの参加で、3 位に入賞しました。中学生男子の部では、出場選手 70 名中 18 名が白石東地区からの参加でしたが、健闘空しくベスト 8 で敗退しました。参加された皆さんには、持てる力を精一杯発揮し、活躍されました。

白石区民室内スポレク大会が平成 21 年 2 月 22 日（日）に白石区民体育館で開催され、白石東地区よりミニバレーに 2 チーム、テニポンに 5 チームが参加しました。テニポン女子 A チームとテニポン混合 B チームが 3 位に入賞しています。テニポン男子の部には、板垣町内会連合会会長が初参加し、2 ポイント差で惜しくも第 3 位を逃しました。

白石東地区では、春のマラソン、夏の少年野球、秋の卓球、春・秋のグランドゴルフを楽しむ会、冬の室内スポレク大会を開催し、また、白石区においても、区民健康マラソン、卓球、室内スポレク大会が開催されています。白石東地区の各町内会においても、いろいろなスポーツを楽しんでいることと思いますが、皆さんも大いに参加され、ヘルシーライフをエンジョイし、健康保持に努めましょう。

平成 21 年度もマラソン大会を皮切りに、各種スポーツ大会を開催する予定ですので、より多くの皆様の参加をお待ちしております。取材担当：長井



「白石・雪であそぼう！ at 大谷地小学校」



1 月 18 日（木）冬休み中の大谷地小学校のグラウンドを会場に、「白石・雪であそぼう！ at 大谷地小学校」が昨年に引き続き開催されました。12 月・1 月となかなか雪が降らず、開催が危ぶまれましたが、開催 4・5 日前から雪が降り出し、とても良い雪の状態で開催日を迎えることができました。

当日は天候にも恵まれ、寒い日にも関わらず、230 名の親子や近隣の小学生 111 名と、前回の約 2 倍の人たちが参加してくれました。

白石区子育て支援係をはじめ、地域町内会や各種団体その他学生ボランティアなど総勢 74 名のボランティアスタッフに支えられ、みんな童心にかえり、楽しいひと時を過ごしました。

「汽車ごっこ」では、そりを引くボランティアが息切れをおこし、学生ボランティアにバトンタッチするというアクシデントはありましたが、子どもたちは寒さも忘れ、「的あて」や「そり滑り」などの遊びを楽しんでいました。

最後に子供たちがキャーキャー言いながら雪の中の記念品を掘り出す「宝探し」で終了。楽しい時間があっという間に過ぎていきました。来年も開催されるようですので、今年参加できなかった方、次回はぜひご参加ください。ボランティアスタッフ 鳴原



汽車ごっこ



宝探し

刑事裁判劇「閉ざされた未来」観劇レポート



3月7日(土)リフレサッポロで、札幌地方検察庁劇団『ユーキーズ』による刑事裁判劇「閉ざされた未来」が、裁判員制度開始目前公演として行われました。

裁判劇という少し重々しいイメージを描きつつ、いざ取材へと向かいましたが、会場のライラックホールがほぼ満員になるくらい、地域の皆さんや学生さんなど多数参加(123名来場)されていました。

ステージにテーブルや巨大スクリーンを駆使して、飲酒運転により死亡衝突事故を起こした加害者(被告人)は“危険運転致死”なのか、“自動車運転過失致死および酒気帯び”なのか、という想定で裁判劇がスタートしました。

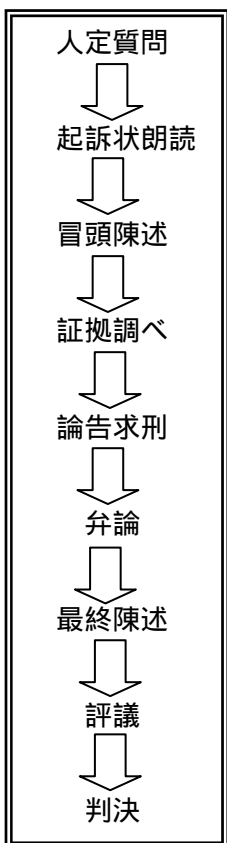


図1 裁判の流れ

実際の裁判と同じ進行方法(図1)で進むにつれ、あまりにも迫真の演技に、会場の皆さんも、被告人・弁護人に不快感や、“遺族による意見陳述”に感銘をおぼえたり・・・演じているのは裁判員6名(会場の一般の方です)以外の被告人・弁護人・証人・裁判官・検察官などすべて現役の検察官(検事)さんなのですが・・・(笑)

公演終了後、第2部で評議が行われ、皆さん熱心に手を挙げ、質問や意見を出して、多数決で罪名や刑期を決めて、判決となりました。

最後に、『ユーキーズ』の団長である総務部長検事の西本 仁久さんが“『ユーキーズ』迫真の演技をしたメンバーは皆国家公務員です。(笑)職務終了後に練習を重ねてきました。これも皆様により裁判員制度をわかりやすくご理解いただきたい一心で演技しました。皆さんに裁判員制度のよりよいご理解とご協力なしではできませんので、どうぞよろしくお願ひいたします。”とお礼の言葉としてご挨拶されました。

取材担当：大瀬戸・出淵



裁判員制度??

国民の皆さんが裁判に参加することによって、国民の皆さんの視点・感覚が裁判の内容に反映されることとなります。その結果、裁判が身近になり、国民の皆さんの司法に対する理解と信頼が深まることが期待されています。そして国民の皆さんが自分を取り巻く社会について考えることにつながり、より良い社会への第一歩となることが期待されています。

世界でも、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア等の国々でも行われています。

参加する事件は、殺人、強盗致死傷、傷害致死、危険運転致死、建造物等放火、身代金目的誘拐、保護責任者遺棄致死等であり、これらの裁判に参加して、裁判官と一緒に刑を決めることとなります。裁判員制度は、平成21年5月からスタートです。

取材担当：岩井



白石東地区きけんマップを作成



まちづくり協議会では、大谷地小学校区きけんマップ、東白石小学校地域安全マップ、平和通小学校安全マップを参考に、白石東地区全域のきけんマップを作成することにしました。

まず、昨年11月26日(水)に各町内会・自治会のほか、民生委員児童委員協議会、青少年育成委員会、交通安全実践会、交通安全母の会、スクールガードの方々25名が参加し、事故・犯罪・災害・その他の視点から危険な場所の洗い出しを行いました。

洗い出された危険な個所に加え、各小学校で作成された安全マップの危険個所、さらに東白石交番からの「南郷18丁目駅付近とサイクリングロードは、特に気をつけてほしい場所である」などの意見を加えて作成されたマップの素案をもとに、2月25日(水)に、マップづくりに向けた意見交換を行いました。

参加者からは、「マップの凡例マークをもっと見やすくしてほしい」、「新たに意見で出された危険箇所をマップに示してほしい」、「交番の場所を示すべきではないか」、「緊急時や白石警察署、東白石交番の電話番号をもっと見やすく」などの意見が出されました。

きけんマップは4月に発行される予定ですが、このマップにより白石東地区にお住まいの方々が危険箇所を意識し、安心して過せる地区になってほしいと思います。

取材担当：五十嵐



危険な場所の洗い出し作業中



マップづくりの作業中

白石東会館 管理人さんのご紹介！！

この度、白石東会館の管理人になりました上枝(うええだ)です。

私たちは紋別郡遠軽町から来ました。札幌に来て早2ヶ月が経ちますが、皆さん良い方ばかりなので、ホッとしました。

私たち2人の趣味は読書と旅行です。(新しい趣味で山菜取りもあります。)札幌市街や近郊などでも行ってみたいところがいっぱいあり、時間ができたら行こうと、今から楽しみにしています。

この町のことも、会館のことも、まだまだわからないことが多いと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

上枝



取材スタッフ 岩井(町連)・五十嵐(育成)・長井(体振)松原(単町)
小笠原(単町)・大瀬戸(大谷地小PTA)・出淵(大谷地小PTA)

お問い合わせ 「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

スタッフ
募集中！

